

# 玉手山学園 広報

Tamateyama Gakuen Kouhou 2015.9 AUTUMN

Vol.

79

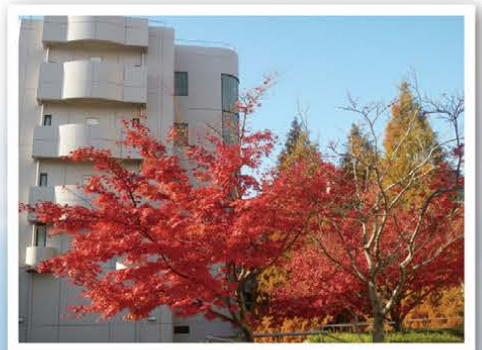


## Contents

- 巻頭 理事長あいさつ
- 地域連携センターの紹介
- 大学 新学部紹介
- 小松山合戦まつり
- 短大・幼稚園 創立50周年
- 短大 バレーボール部活動報告
- 高校 クラブ活動報告
- 幼稚園 お姉さん先生参上!!
- 決算概要・予算概要
- 学園スタッフ紹介

巻頭 理事長あいさつ  
あれ(入学式)から半年  
夢を忘れていませんか

～ How's it going? ～



## 建学の精神 「感恩」

人は様々な恩恵を享受し 生かされている  
この真理に目覚め 感動と感謝から発する  
豊かな心と情熱をもって 人の幸せを願い行動するとき  
私たちは社会に貢献できる  
～「ありがとう」に出会い気づき 感動 感謝の行動から  
新しい「ありがとう」が生まれ出されていく～



巻頭 理事長あいさつ

# あれ(入学式)から半年 夢を忘れていませんか ～ How's it going? ～



## 夢と志を育てる学園を目指す やるかやらぬか 夢を忘れていませんか？

学園は夢に近づくところです。近づくのは学生・生徒・園児の皆さんです。そして皆さんが夢に近づくことを応援する学園の教職員自身もです。先日(7月4日、5日)の玉手山学園理事長杯中学生バレーボール大会(もう8回を数えます)でも多くの中学生、そして指導している顧問(中学校の先生)やコーチが、夢と志を“響動”で育てていました。私はそう強く感じました。「志」とは夢に近づくためのエネルギー、その気・本気になることです。すべきことがせつかく見つかったならば、「やれるか やれないか」ではなく、「やるか やらぬか」が大切です。その「志」とはどうやって立てるのでしょうか。日々の授業が基本ですが、学園生活の中で色々な感動・感謝を体験し、刺激を受けることが、志を立てる(その気・本気になる)大きな機会・キッカケとなります。



理事長杯 中学生バレーボール大会  
大失敗の“悔し涙”も思い出しに



## 絶好調と絶不調(まさか落ちたのは自分1人?!) 夢は逃げない、逃げるのは自分



福科大卒の3人の若い看護教諭  
頑張れ、そして育てられる

今春の国家試験でほぼ100%の合格率を達成した福科大の学科がありました。とても喜ばしいことです。“ほぼ”、の理由は不合格の学生が1名いたからです。このことを皆さんはどう思いますか？ その学生に何と声をかけますか？ ベストを尽くして頑張ったにも関わらず落ちたのであればショックは大きいと思いますが、恥ずることはなく胸を張って歩き、そしてぜひ再チャレンジしてほしいと思います。その姿勢は、“カッコ悪い”どころか“カッコよく”、大勢の人たちに元気を与えてくれるでしょう。再チャレンジの結果がどうであれ、その努力は人としての成長につながり、将来の“素敵な仕事”につながると信じています。



## 柏原市は日本一の古墳の町（古墳は増える?）

玉手山学園の在る柏原市は昔、奈良と大阪を結ぶ交通の要所（大和川沿い、山越え不要）として栄え、それが証拠に日本一古墳の数が多い町です（知っていましたか?）。大小合わせて約2,000基もの古墳が、25km<sup>2</sup>の小さな町に存在しています（数年前までは1,700基と紹介していました。えっ古墳は増える? そう次々と横穴式古墳が発見されていくのです）。ただ、全国的に著名な古墳はなく、最も大きく有名なのが松岳山古墳（前方後円墳 学園から見えます）です。また高井田横穴公園に行けば手軽に横穴式古墳を見学することができます（太古の人々の息吹を感じるかも）。私たちは何かの縁でこの柏原の町にいます。柏原の町は面白いですよ。ぜひ楽しんでください。他にも河内ワインや小松山合戦古戦場、河内木綿、大和川付け替え、亀の瀬地すべり地帯、山と溪谷の景観など多くの興味深い事（OMOROI KOTO）があります。時間があれば（なくてもつくって）、ぜひ散策してください。



高井田横穴古墳群

## 短大、幼稚園 創立50周年 卒業生 凄い！

アジア初の東京オリンピック開催（昭和39年）の翌年に創設された“関女”（関西女子短期大学）と同附属幼稚園は本年50周年を迎えました。本学園と言えは“カンジョ”の所以がここにあるのです。この機に「感謝の表明、母校愛の醸成、短大・幼稚園の活力発信」を趣旨として50周年記念式典（平成27年10月24日）を計画し、また短期大学の新校舎（短大7号館）が竣工しました（平成27年7月）。玉手山学園はますます“元気”になります。多くの卒業生たちが全国各地で頑張っています。先日、大阪府内某市の小中学校の養護教諭約30名のうち10名が本学園の卒業生であることがわかりました。そのうちの3人の養護教諭と懇談の機会を得ましたが、彼女たちは「笑いながら、時には泣きながら、一生懸命やりがいを感じて仕事をしています。」と話してくれました。たまたま行った歯科医院では、担当の歯科衛生士が「私、関女の卒業生なんです」と、はにかみながら話しかけてくれました。柏原青年会議所の50周年式典では歴代理事長の内、数名が関女幼のOBでした。玉手山学園の卒業生たちは凄い…皆さんのおかげで今日の学園があります。心からそう感じ、元気をいただいています。



柏原青年会議所(JC)歴代理事長 数名が関女幼のOB 凄くない?

## 短大新校舎(H27.7完成)と高校新校舎計画(H28.4着工決定)

今、少子化で日本の学校は“大競争（学生・生徒獲得）”時代の真ただ中です。まさに本物の良質の教育が求められる厳しい時代です。そんな中、本学園の教職員は実直に良質の教育サービス提供に徹し、“入学し、学び、卒業したい学園”として選ばれ一定数の若者が集まる学園になっています。ひとえに教職員の皆さまの誠実な努力の賜物と感謝申し上げます。そのおかげ（自分たちの教育が選んでもらっているという自負心、これからがんばるぞという決意）で短大の新校舎が完成し、高校の新校舎建築計画を確定することができました。良質の教育実践とそれを支える施設・設備を用意し、これからも建学の精神「感恩」のもと、ありがとうを大切に教育に実直に邁進してまいります。

理事長・学園長 江端 源治



# 地域連携センターの紹介

大学 地域連携センター 藤井 亮佑



地域連携センターが『有文館』内に開設されました。センターの主な機能として、学園全体における地域連携及び地域貢献活動に関する企画の立案が挙げられます。企画第1号として、地域の子どもの対象にしたスポーツ教室(バレーボール・卓球)をクラブの指導者・学生・生徒の協力をいただきながら今年の8月から活動しております。今後、このスポーツ教室に留まらず様々な地域と連携した企画を実施していく予定ですので、地域連携事業に興味のある学生の方は是非一度、お気軽に地域連携センターまで遊びに来てください。



## 2016年4月 福科大に新学部誕生!



大学 入試広報部 竹本 奈津美

2016年4月、福科大に新たに心理科学部と教育学部の2つの学部が誕生します。心理科学部は、複雑かつ多様化する現代社会に対応できる人材を育成するために、あらゆる社会に役立つ新しい心理学の研究と教育を実践し、心理学を通して社会に貢献できる人材育成をめざします。

教育学部には、発達支援教育専攻と子ども教育専攻の2専攻あり、発達支援教育専攻では、小学校教諭に加え、特別支援学校教諭の資格取得が可能です。子ども教育専攻は、現場に必要とされる幼稚園教諭や保育士を養成します。

新しく誕生する2つの学部の詳細・情報について、オープンキャンパスやパーソナル相談会でご紹介しています。お知り合いで希望者がいらっしゃいましたらご紹介いただければ幸いです。





# 小松山合戦まつり

大学 地域連携センター 藤井 亮佑

今年は、大坂夏の陣が起こってから400年を迎えます。慶長20年5月6日(1615年6月2日)明け方から、玉手山北陵小松山に陣を張る大坂方の後藤又兵衛基次の軍勢と、国分村方面から押し寄せる徳川との軍勢とが激突しました。この戦によって豊臣家は滅び、徳川家康の天下統一が決定づけられた合戦として有名で、400年の歳月を経た今、戦没者慰霊と小松山合戦の歴史を多くの人に知っていただくため、昨年に引き続き、5月3日(祝)に玉手山公園周辺で「小松山合戦まつり」が開催されました。

本学園からは、玉手山公園野外劇場で開催された奉納イベントに高等学校の保育進学コース2年生による和太鼓と、大学のクラブサークル「BE!POP」によるダブルダッチ演技を披露し、見学に訪れた多くの方々からの温かい拍手と声援のなか、無事終了することができました。

大坂夏の陣で合戦が行われたこの柏原の地に、玉手山学園があり、大坂夏の陣400周年事業としての「小松山合戦まつり」に、地域の方々と共に参加できたことに感謝しております。





# 短大・幼稚園 創立50周年

50周年記念実行委員会

関西女子短期大学・同附属幼稚園は、東京オリンピック開催の翌年、昭和40年に開学・開園し、本年創立50周年を迎える運びとなりました。それを記念し、さまざまな事業・行事を行っています。

## 創立50周年記念式典・祝賀会

創立50周年を迎えることに感謝し、日ごろお世話になっている実習先、就職先、地域の方々や退職した教職員、卒業生をお迎えし、記念式典・祝賀会を開催します。

開催日時：平成27年10月24日(土) 11時～14時

場所：シェラトン都ホテル大阪



学園創立25周年記念式典(1967年)

### 〈当日のスケジュール〉

- 記念式典：理事長・学園長 式辞  
短大学長 式辞、来賓祝辞、学園歌斉唱など
- 祝賀会：幼稚園 園長挨拶、来賓祝辞など  
アトラクションとしてゴスペル、  
和太鼓演舞 等を予定しています。



学園創立25周年祝宴会(1967年)



短大創立当時の風景(1965年)

## 新校舎の建設及び校舎の整備

新校舎【短大7号館】は7月末に完成しました。

校舎内には、講義室、歯科衛生学科や養護保健学科が主に使用する各種実習室が設置され、最新の機器が導入されています。

秋学期の授業、実習は、新しい設備で行われています。

また、短大3号館の耐震改修工事を行いました。



短大7号館1階ロビー

## 50周年記念誌の発行

短大・幼稚園とも、単独での記念誌制作は初めての事業となります。

短大は、教育の「過去・現在・未来」をテーマに、50年の歴史を振り返りました。また、卒業生、教職員OBからの思い出エッセイもたくさん掲載しています。

幼稚園は、50年を写真で振り返るとともに季節感のある園生活を紹介しています。

両誌とも9月末に発行し、記念式典で配布します。



KANSAI WOMEN'S COLLEGE  
KANSAI WOMEN'S COLLEGE KINDERGARTEN  
since 1965

## 新校舎見学会

短大7号館の見学会を実施します。

日時：平成27年11月7日(土)・8日(日) 10時～15時

集合場所：短大7号館1階

## 記念音楽CDの制作

短大生の合唱をメインとした学園歌の音楽CDを制作しました。内容はピアノと斉唱、ピアノと2部合唱、ピアノ五重奏と斉唱、ピアノのみ、弦楽四重奏のみの5バージョンです。この記念音楽CDは記念式典で配布します。





# 関西女子短期大学 バレーボール部活動報告



関西女子短期大学バレーボール部 顧問 祖父江 鎮雄 監督 奥野 孝治

## 第50回記念全国私立短期大学体育大会出場(Aブロック・ベスト8)

3月12日に新入生を迎え、練習を重ねチーム編成を行い、4月12日からの関西大学バレーボール連盟春リーグ戦(6部)に臨みました。そして代表決定戦まで全勝優勝し、5部昇格を勝ち取りました。また日々の授業及び各学科の学外・学内実習の中で練習に励み、8月3日～6日までと昨年に比して約一ヶ月早い開催となった「第50回記念全国私立短期大学体育大会」に参加しました。期末試験と試合の両方に勝つことを目標に、猛暑の中コンディション作りに苦慮しながら大会に臨みました。



日本私立短期大学協会主催、文部科学省・東京都後援で全国の短期大学生約1,800人が参加しました。総合開会式は、名誉総裁高円宮妃殿下をお迎えし、駒沢オリンピック公園体育館で開催され、各短期大学代表の入場行進から始まって盛大に挙行されました。本学は、前年度バレーボールBブロック優勝カップを返還し、今一度感激に浸りました。2日目からは競技開始となり、予選グループ戦に完勝し、決勝トーナメントでは、関東の強豪に競り合いの末勝利し、全国ベスト8進出を果たしました。“千の命に千の華”をモットーに一生懸命、最後まであきらめない精神で健闘しました。プレーの姿、会場でのマナーの良さなど多くの方々から好感を持って受け入れられ、全国の短期大学の一員として昨年に引き続き一歩踏み出すことができました。バレーボールを通じ、共に人として成長するという清い泉の心、水がやがて小川に、大河となる川の流れるように伝統を築き上げたいと思います。いつも暖かく励まして下さる江端理事長をはじめ、アドバイスをいただく江端・森本副学園長、練習を共にする本学園高等学校バレーボール部の皆様及び、ご支援賜りました学園のすべての方々に心から感謝申し上げます。



東京都大田区総合体育館



短大バレーボール部員の入場



高円宮妃殿下を迎えて



前年度優勝杯返還



# 平成27年度 クラブ活動状況

高等学校 小森 泉

日本拳法部の全国制覇を筆頭に、今年度も各クラブで素晴らしい戦績を収めています。7月現在の状況をご報告させていただきます。

## 日本拳法部

第19回西日本学生拳法選手権大会(4月 大阪府)

団体戦 男子:優勝 女子:優勝  
 個人戦 男子有段の部:準優勝  
 男子段外の部:第3位、第5位  
 女子個人の部:第5位

第60回全国高等学校日本拳法選手権大会(7月 宮城県)

男子団体戦:優勝  
 最優秀選手賞 受賞  
 女子団体戦:2回戦敗退  
 男子個人戦:第3位、第5位  
 女子個人戦:第5位



日本拳法部 優勝報告



学園理事長より、全部員に記念品の贈呈



部を代表して、主将の謝辞

## なぎなた部

平成27年度春季大会兼インターハイ予選(6月)

団体戦:2位 演技の部:3位  
 よって、全国高等学校総合体育大会なぎなた  
 競技の部(大阪市)に出場決定

平成27年度全国高等学校総合体育大会  
 なぎなた競技の部(7月 大阪府立体育会館)

団体の部:予選リーグ1勝1敗  
 演技の部:予選リーグ2勝0敗 決勝トーナメント進出  
 全国ベスト16

## 卓球部

第68回大阪高等学校卓球選手権大会(5月) 女子の部

学校対抗:3位入賞  
 シングルス:ベスト8  
 ダブルス:ベスト8

よって、全種目で第69回近畿高等学校卓球選手権  
 大会に出場決定

第69回近畿高等学校卓球選手権大会  
 (7月 大阪府立体育会館)

学校対抗 シングルス ダブルスとも、健闘むなしく  
 惜敗した。

## バレーボール部

平成27年度春季大会兼大阪高校選手権大会兼  
 全国高校総合体育大会大阪地区第2次予選  
 大阪ベスト8(6月)に入り、平成27年度近畿高等学校  
 バレーボール優勝大会の出場権を得る

平成27年度近畿高等学校バレーボール優勝大会  
 (7月 滋賀県)  
 ベスト32

## バドミントン部

2015年度全国高等学校総合体育大会大阪府予選会(5月)

男子学校対抗の部:第2位  
 女子学校対抗の部:第5位  
 男子ダブルスの部:第5位(2組入賞)

第20回全国私立高等学校選抜バドミントン大会出場  
 (8月 北海道)

## 水泳部

第23回近畿私学中学高等学校水泳競技大会出場  
 (5月 大阪府)

## テニス部

平成27年度大阪高等学校春季大会  
 ソフトテニス男子団体予選リーグ大会(4月) 優勝



園児の成長をみんなで見守っています。

# お姉さん先生 参上!!



幼稚園 村井 恵

短期大学保育科とともに誕生し今年創立50周年を迎えた幼稚園。大きな遊具や広い園庭のほかにも、学園内外から、たくさんの方が園に来てくれるという大きな特色があります。

4月には、幼稚園にまだ慣れていない新入園児たちのお手伝いを、短大保育学科の学生さんをお願いしました。着替えを手伝ってもらったり、淋しがっている子どもに寄り添ってもらったり。授業の合間をぬって来てくれるやさしいお姉さん先生が子どもたちは大好きです。養護保健学科の学生さんも5、6月の金曜日は毎週自主的に幼稚園に来てくれました。手洗いやうがいなどの大切さを教えてもらったり、虫歯予防週間には歯磨きの大切さを伝えるポスターを、子どもの年齢に合わせて3種類も作成してくれたりしました。

6月には保育学科の学生と関西福祉科学大学高等学校保育進学コースの生徒のほか、大阪樟蔭女子大学の実習生、そして地元柏原市の中学生も来てくれました。また福科大の高校生は夏休みの園内キャンプを盛り上げるために、工夫を凝らしたお店屋さんを出店してくれました。

子どもが成長していくうえで、何より大切な人との関わりですが、近年では親以外の人と触れ合っ  
て過ごす機会が大変少なくなってきました。しかし嬉しいことに附属幼稚園の子どもたちはたくさん  
の人に囲まれ、関わってもらいながら過ごすことで日々成長しています。この環境を大切に学園  
のもつパワーをフルに使わせていただこうと考えています。

このように、子どもたちは遊んだり学んだりするだけでなく、将来幼稚園の先生や保育士になりたい  
人が夢に近づくため、夢を実現するための勉強や実習に自然に協力しています。園児とお姉さんた  
ちが、ともに学び成長していく姿を見るのがとても楽しみです。



# 平成 26 年度 決算 概要

## 資金収支計算書 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで (単位:千円)

収入の部		支出の部	
科目	決算	科目	決算
学生生徒等納付金収入	3,901,141	人件費支出	3,003,946
手数料収入	92,522	教育研究経費支出	1,044,077
寄付金収入	5,898	管理経費支出	528,597
補助金収入	1,071,599	施設関係支出	609,093
資産運用収入	52,077	設備関係支出	138,479
資産売却収入	381	資産運用支出	686,030
事業収入	68,846	その他の支出	180,241
雑収入	68,832	資金支出調整勘定	△199,148
前受金収入	810,628	次年度繰越支払資金	3,559,086
その他の収入	179,386		
資金収入調整勘定	△921,841		
前年度繰越支払資金	4,220,932		
<b>収入の部合計</b>	<b>9,550,401</b>	<b>支出の部合計</b>	<b>9,550,401</b>

## 消費収支計算書 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで (単位:千円)

消費収入の部		消費支出の部	
科目	決算	科目	決算
学生生徒納付金	3,901,141	人件費	3,055,919
手数料	92,522	教育研究経費	1,487,296
寄付金	14,015	管理経費	569,392
補助金	1,071,599	資産処分差額	11,904
資産運用収入	52,077		
資産売却差額	347		
事業収入	68,846		
雑収入	68,875		
帰属収入合計	5,269,422		
基本金組入額	△901,582		
<b>消費収入の部合計</b>	<b>4,367,840</b>	<b>消費支出の部合計</b>	<b>5,124,511</b>
		当年度消費支出超過額	756,671
		前年度繰越消費支出超過額	797,886
		基本金取崩額	1,956
		翌年度繰越消費支出超過額	1,552,601

## 貸借対照表 平成27年3月31日 (単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	本年度末	科目	本年度末
固定資産	19,646,541	固定負債	658,855
有形固定資産	12,507,586	退職給与引当金	658,855
その他の固定資産	7,138,955	流動負債	1,328,549
流動資産	3,745,038	前受金	810,628
現金預金	3,559,086	その他	517,921
その他	185,952		
		<b>負債の部合計</b>	<b>1,987,404</b>
		<b>基本金の部</b>	
		科目	本年度末
		第1号基本金	21,525,776
		第2号基本金	1,065,000
		第4号基本金	366,000
		<b>基本金の部合計</b>	<b>22,956,776</b>
		<b>消費収支差額の部</b>	
		科目	本年度末
		翌年度繰越消費支出超過額	△1,552,601
		<b>消費収支差額の部合計</b>	<b>△1,552,601</b>
		科目	本年度末
<b>資産の部合計</b>	<b>23,391,579</b>	<b>負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計</b>	<b>23,391,579</b>

※26年度計算書類、27年度予算書の詳細については、玉手山学園ホームページ <http://www.houjin.fuksi-kagk-u.ac.jp/> に掲出しております。

### 【資金収支計算書】

納付金収入は、少子化傾向が続く中、学生・生徒募集により学生・生徒数が前年度と比べ増加し、予算比では79百万円減少しましたが前年度比では212百万円増加の3,901百万円となりました。

手数料収入は、予算比1百万円増加、前年度比8百万円増加の93百万円となりました。

寄付金収入は、予算比6百万円増加、前年度比2百万円増加の6百万円となりました。

補助金収入は、国庫補助金、大阪府補助金の増加により予算比60百万円増加、前年度比132百万円増加の1,072百万円となりました。

資産運用収入は、運用先の見直しなどにより受取利息が増え、予算比6百万円増加、前年度比2百万円増加の52百万円となりました。

事業収入は、予算費9百万円増加、前年度比横ばいの69百万円となりました。

雑収入は、予算比では1百万円減少しましたが、退職金財団からの交付金収入が前年より増加したため、前年度比23百万円増加の69百万円となりました。

前受金収入は、学生・生徒の入学者数が予算見込み数より減少し、予算比では61百万円減少しましたが、前年より入学者数が増加したことにより、前年度比33百万円増加の811百万円となりました。

前年度繰越支払資金を除く資金収入は、予算比142百万円減少、前年度比371百万円増加の5,329百万円となりました。

人件費は、予算比では67百万円減少しましたが、学生・生徒数の増加に伴う教員増による人件費増の影響により、前年度比では78百万円増加の3,004百万円となりました。

経費は、各部門における経費の節減効果が大きく教育研究経費支出、管理経費支出合計で、予算比43百万円減少しましたが、前年度比では60百万円増加の1,573百万円の支出となりました。

施設、設備関係支出については、予算比では86百万円減少しましたが、短大新校舎建設、短大・高校の耐震改修工事関連の支出により、前年度比406百万円増加の748百万円となりました。

上記の結果、法人全体として次年度繰越支払資金は期首より662百万円減少の3,559百万円となりましたが、減価償却引当特定資産への繰入355百万円等、資産運用支出計上分の686百万円を内部留保後の支払資金です。

### 【消費収支計算書】

消費収入は、学生生徒納付金・手数料・寄付金・補助金・資産運用収入・事業収入・雑収入については資金収支計算書・収入の部と同じ要因で、帰属収入の合計は予算比10百万円増加、前年度比340百万円増加の5,269百万円となりました。

基本金組入額合計は予算比287百万円減少、前年度比307百万円増加の901百万円で、主だったものとして短大新校舎建設に係る第1号基本金への組入450百万円、第2号基本金への組入355百万円あり、消費収入の部合計は予算比297百万円増加、前年度比34百万円増加の4,368百万円となりました。

資金収支計算書・支出の部と同じ要因で、人件費は予算比46百万円減少、前年度比74百万円増加の3,056百万円となりました。経費は、経費節減効果により予算比63百万円減少しましたが、前年度比54百万円増加の2,057百万円となりました。消費支出の部合計は、予算比117百万円減少、前年度比109百万円増加の5,125百万円となりました。

当年度消費収支差額は、収入増と経費節減効果により支出超過額が予算比414百万円減少の757百万円の支出超過となり、基本金取崩額が2百万円あり、翌年度繰越消費支出超過額は1,553百万円となりました。なお、帰属収支差額は145百万円の収入超過となりました。

### 【貸借対照表】

固定資産は、有形固定資産において短大新校舎建設にかかる支出450百万円があり、減価償却による簿価の減少がありましたが、前年度末比260百万円増加の12,508百万円となりました。

また、その他の固定資産は、退職引当特定資産が34百万円増加、減価償却引当特定資産が237百万円増加し、今年度においても短大校舎建設引当特定資産355百万円を積み増したこと、診療所への収益事業元入金60百万円を計上したことにより、前年度末比685百万円増加の7,139百万円となり、固定資産合計では前年度末比946百万円増加の19,647百万円となりました。

流動資産は、現金預金の減少等により、前年度末比699百万円減少の3,745百万円となりました。よって資産の部合計は前年度末比247百万円増加の23,392百万円となりました。

負債の部は、退職給与引当金の増加、退職金を含む未払金の増加により、負債の部合計は前年度末比102百万円増加の総額1,987百万円となりました。

基本金は、短大校舎建設に係る第1号基本金450百万円の組入及び第2号基本金355百万円の組入に対し、備品の当年度薄外処理分の減額等がありましたが、基本金の部合計では前年度末比900百万円の増加の22,957百万円となりました。

消費収支計算書の部で述べたように、翌年度繰越消費支出超過額は、前年度末798百万円から755百万円増加し、1,553百万円の翌年度繰越消費支出超過額となりました。また純資産(資産の部合計-負債の部合計)は前年度末比145百万円増加の21,404百万円となりました。



# 平成 27 年度 予算 概要

## 資金収支予算書 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで (単位:千円)

収入の部		支出の部	
科目	予算	科目	予算
学生生徒等納付金収入	4,068,485	人件費支出	3,182,928
手数料収入	95,751	教育研究経費支出	1,210,582
寄付金収入	0	管理経費支出	554,863
補助金収入	986,519	借入金等利息支出	0
資産売却収入	0	借入金等返済支出	0
付随事業・収益事業収入	61,390	施設関係支出	981,253
受取利息・配当金収入	38,000	設備関係支出	399,278
雑収入	70,718	資産運用支出	167,350
借入金等収入	0	その他の支出	200,883
前受金収入	936,560	[予備費]	96,000
その他の収入	1,092,447	資金支出調整勘定	△110,970
資金収入調整勘定	△867,664	翌年度繰越支払資金	3,359,125
前年度繰越支払資金	3,559,086		
<b>収入の部合計</b>	<b>10,041,291</b>	<b>支出の部合計</b>	<b>10,041,291</b>

## 事業活動収支予算書 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで (単位:千円)

		科目	予算		
教育活動収入の部	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	4,068,485		
		手数料	95,751		
		寄付金	0		
		経常費等補助金	986,519		
		付随事業収入	61,390		
		雑収入	71,498		
		<b>教育活動収入計</b>	<b>5,283,643</b>		
		教育活動支出の部	事業活動支出の部	人件費	3,190,628
				教育研究経費	1,675,086
				管理経費	595,338
徴収不能額等	0				
<b>教育活動支出計</b>	<b>5,461,052</b>				
教育活動収支差額		△177,409			
教育活動外収入の部	事業活動収入の部	受取利息・配当金	38,000		
		その他の教育活動外収入	0		
		<b>教育活動外収入計</b>	<b>38,000</b>		
	事業活動支出の部	事業活動支出の部	借入金等利息	0	
			その他の教育活動外支出	0	
			<b>教育活動外支出計</b>	<b>0</b>	
			教育活動外収支差額	38,000	
	経常収支差額		△139,409		
	特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0	
			その他の特別収入	0	
<b>特別収入計</b>			<b>0</b>		
事業活動支出の部		事業活動支出の部	資産処分差額	357,859	
			その他の特別支出	0	
			<b>特別支出計</b>	<b>357,859</b>	
			特別収支差額	△357,859	
[予備費]		96,000			
基本金組入前当年度収支差額		△593,268			
基本金組入額合計		△687,751			
当年度収支差額		△1,281,019			
前年度繰越収支差額		△1,552,601			
基本金取崩額		0			
翌年度繰越収支差額		△2,833,620			
(参考)					
事業活動収入計		5,321,643			
事業活動支出計		5,818,911			

### 【資金収支計算書】

平成27年度予算は、大学の教学組織再編、短大及び高校新校舎建設等積極的な投資を含んだ予算となり、平成26年度同様収支の均衡を欠く予算編成となりました。

資金収入は、厳しい学生募集環境の中、学生・生徒数の増加による学生生徒納付金収入の増加、短大校舎建設特定資産からの繰入収入、借地の契約満了に伴う差入保証金の回収等で資金収入合計は、前年度比1,011百万円増加の6,482百万円となりました。

資金支出は、言語聴覚学専攻新設に関わる教員増による人件費増、大学教学組織再編、短大校舎建設等の積極的投資により資金支出の部合計は、前年度比408百万円増加の6,682百万円となりました。

その結果、資金収支差額は200百万円の支出超過となり、資産運用支出の167百万円が含まれておりますが、次年度繰越支払資金としては、減少する予算編成となりました。

資産運用支出の内容は、退職給与引当特定資産への繰入支出17百万円、大学附属総合リハビリテーション診療所への収益事業元入金支出50百万円、短大校舎建設引当特定資産への繰入支出100百万円となっております。

### 【事業活動収支計算書】

平成27年度より学校法人会計基準の改正があり、従来の消費収支計算書が新たに事業活動収支計算書となりました。

今回の改正で、基本金組入前の段階の収支差額を表示することで「長期的な収支バランス」と「毎年度の収支バランス」の両方が計算書類上で把握できるようになっています。

事業活動収支においても資金収支と同様の要因により、事業活動収入計は5,322百万円となりました。今年度の基本金組入は前年度に引続き短大新校舎建設に伴う第2号基本金の組入、短大校舎建設、高校校舎建設、教育学部新設に伴う施設・設備増がありました。前年度比500百万円減少の688百万円となりました。

事業活動支出計は、大学教学組織再編に伴う教育研究経費増、高校新校舎建設に伴う旧校舎の撤去及び賃貸借契約満了に伴う香芝グラウンドの構築物等の撤去に伴う処分差額により5,819百万円となりました。

その結果、基本金組入前当年度収支差額(帰属収支差額)は△593百万円、当年度収支差額(消費収支差額)は△1,281百万円となり、翌年度繰越収支差額は、△2,834百万円となる予算編成となりました。



# 学園スタッフを 紹介します



高校  
進路指導部長  
平井 利明

**A1** 担当教科は理科と情報です。また、進路指導を担当しています。生徒一人一人の進路希望が実現でき、担任の先生がより良い進路指導が出来るよう努力しています。

**A2** 学生時代の家庭教師や塾講師のアルバイトを通して、教えることの楽しさを知った事がきっかけになったと思います。

**A3** 特に現在執心している趣味はないのですが、強いて言えばドライブと天体観測です。

**A4** 授業においてまだまだ努力・工夫の余地があると思いますので、出来るだけ理想に近づけられるよう努力していきたいと思っています。

**Q1** お仕事の内容をお聞かせください。

**Q2** お仕事を始められたきっかけを教えてください。

**Q3** 趣味はなんですか？

**Q4** 今後の抱負をお聞かせください。



大学  
社会福祉学部長  
津田 耕一

**A1** 社会福祉学部長として学部の運営に携わっていますが、教員としては大学院、学部を通して福祉専門職養成に携わっています。

**A2** もともと社会福祉の現場で働いていたのですが、福祉現場の職員の専門性が大切だと考え、専門職養成に携わっていきたく思うようになり、大学の教員になりました。

**A3** 学生スポーツの観戦を楽しみにしています。高校野球の地方大会や大学のアメリカンフットボールを仕事の合間に観にいらしています。

**A4** 社会福祉の専門職を目指す学生や現に従事している専門職のスキルアップのための人材育成に、さらに力を入れていきたいと考えています。



地域連携センター  
統括マネージャー  
中井 松時

**A1** 玉手山学園の学生・生徒・園児・教職員の皆さんが関わり、地域の方々に喜んでいただける新規事業の企画立案をすることです。

**A2** 30年程前、大学卒業後に当時の関西女子短期大学附属高等学校の保健体育の教員として採用いただき勤務したのがきっかけです。

**A3** 犬を3匹(スタンダード・プードル)飼っており、アジリティやドッグダンス等ワンコ達と一緒にドッグ・スポーツを楽しんでいます。

**A4** 一日でも早く、学園・地域の皆さんから信頼され、多くの方々が相談に訪ねていただける、地域連携の拠点となるセンターにしていくことです。



幼稚園  
主任  
岡本 秀美

**A1** 今年度4月より主任として園児や教師、実習生の指導と園の運営に関わっています。

また、事務関係の業務はただいま勉強中！

**A2** 習っていたピアノの先生から「ピアノの方にいかないなら、幼稚園の先生になったら？」と勧められたことが、どこか頭にあったのかな？そして、いつしか幼稚園の魅力にはまり現在に至ります。

**A3** スポーツを観戦するより実践すること。年齢を重ねてくると、少々億劫になってきましたが、今はサイクリングとゴルフを少々楽しんでいます。

**A4** 「楽しんで過ごせることを見つけよう！」

## 学園広報編集委員会

委員長 山口 美和 (大学社会福祉学部)

委員 山本 円香 (大学事務局)

竹本 奈津美 (大学事務局)

藤井 亮佑 (地域連携センター)

高橋 賢悟 (高等学校)

村井 恵 (幼稚園)

植田 陽 (法人本部)

早川 充昭 (法人本部)

大前 有希 (法人本部)



学校法人 玉手山学園  
関西福祉科学大学附属

## 総合リハビリテーション診療所

☆お問い合わせ☆

☎ 072-931-9970

柏原市旭ヶ丘3丁目11番37号

### 診療科目

■ 内科 ■ 整形外科 ■ リハビリテーション科

### 診療時間

※土・日・祝日休診

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	○	○		
14:00~17:00	○	○	○	○	○		

